

# 消防分野におけるDX・新技術の活用に関する対策について

---

総務省消防庁

## 対応課題: (3) デジタル等新技術の活用による国土強靱化施策の高度化

**概要:** 大規模災害時には、多数の災害が同時に発生することにより消防力が劣勢となるため、限られた消防力でより多くの災害に対応するには、新技術の導入による消防活動の省力化等を通じ、災害対応体制を強化する必要がある。輪島市大規模火災を踏まえた消防防災対策のあり方に関する検討会報告書(R6.7)等においても、消火活動の省力化、無人化の推進や新技術の活用に向けた技術開発の推進等が必要であると提言されたことを踏まえ、消防分野におけるDXや新技術等の活用を推進していく。

## 施策の目標・実施内容等

## ◆施策の目標:

地震等の災害発生時における円滑な消火、救助等に資するDX・新技術等の活用の推進に向け、消防防災科学技術研究推進制度(競争的研究費)により官民連携による研究開発を推進する。

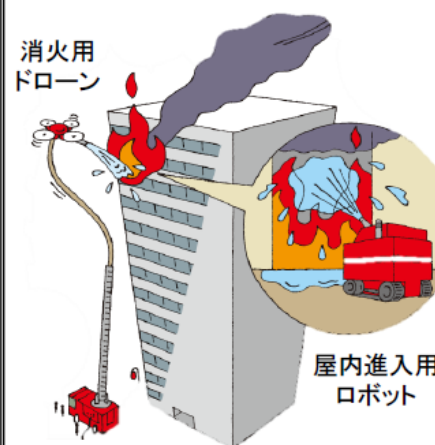
また、消防活動の省力化等に資する新技術について、国がモデル事業により、災害現場等における有効性を示すことで、全国の消防本部への普及を促進し、消防分野におけるDX・新技術の活用を推進する。

## &lt;KPI・目標&gt;

| KPI・指標                                                                             | 現況         | 計画<br>期間<br>目標 | 将来<br>目標      |
|------------------------------------------------------------------------------------|------------|----------------|---------------|
| 消防防災分野における重要施策推進等を目的とする消防防災科学技術研究推進制度(競争的研究費)を活用して実施したDX・新技術の活用に関する実証事業(全40件)の完了率  | 0%<br>(R6) | 100%<br>(R12)  | 100%<br>(R12) |
| モデル事業の対象本部(25箇所)におけるデジタル技術等を活用した新技術の導入による消防活動の省力化・効率化(通報・出動・情報収集・指揮統制・部隊活動等)の取組完了率 | 0%<br>(R6) | 100%<br>(R12)  | 100%<br>(R12) |

## ◆実施主体: ・国

## (消防分野におけるDX・新技術の活用の例)



消防隊員の安全管理のための  
位置把握システム